

こんなことが決まりました

固定資産評価審査委員に再任



すずき こういち
鈴木 光一 氏
(大字上北迫)

固定資産評価審査委員に鈴木光一氏を選任することに同意しました。

人事案件に全員が同意

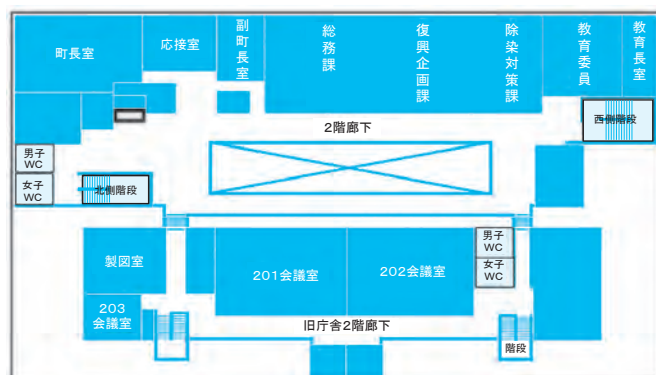
4月からの消費税増税により下水道、農業集落排水使用料、金や道路占用料の税率を改めるための議案を全会一致で可決しました。



広野浄化センター

増税で料金が見直されます

グループが課に変わります
機構改革による関係条例を整理する議案を全会一致で可決しました。



役場庁舎2階配置図



役場庁舎1階配置図



グループ制から課制へ

渡辺久長議員 町長に就任して間もないなかで行政機構を見直す理由は何ですか。
また、町民に対する周知をどのように考えていますか。

遠藤町長 役場の業務を町民にわかりやすくするため、確かな復興を実現するために取り組むものです。
周知は、混乱することがないように広報紙はじめ、様々な情報できちんと伝えていきます。

グループ制を課制に変えるのは

26年度 予算質疑

25年度一般会計

最終補正で

12億1826万円を減額

今回の補正は、主に予算確定等による最終調整および地域振興対策費と復興事業費の大幅な減額でした。

これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ12億1826万円減額され、総額で112億3642万円となりました。

3月補正の結果

会計名	補正後の予算額(補正額)
一般会計	112億3642万円 (△12億1826万円)
国民健康保険特別	9億6281万円 (1101万円)
土地開発事業特別	3億6402万円 (△4156万円)
公共下水道事業特別	5億7665万円 (△1041万円)
介護保険特別	4億7770万円 (△261万円)
後期高齢者医療特別	1304万円 (△2670万円)

地方債残高(町の借金) 平成25年度末見込

地方債(一般会計)	28億6323万円
地域開発事業債	1億3300万円
広野町下水道事業債	13億6580万円
農業集落排水事業債	2億8666万円
合計	46億4869万円

町民1人あたりの借金 約90万円

基金・積立金残高(町の貯金) 平成25年度末見込

財政調整基金	11億9807万円
減債基金	2億3544万円
ふれあい福祉基金	9562万円
復興交付金基金	16億8720万円
電源立地促進対策交付金施設維持基金	2億7825万円
震災復興基金	1億9506万円
その他の基金の計	6億4293万円
合計	43億3257万円

町民1人あたりの貯金 約84万円

平成26年3月31日現在 5151人をもとに算出

補正予算 質疑

復興の現状と 取り組みを確認

公共下水道施設の処理能力は

小磯利雄議員 公共下水道工エリアの中にも作業員の方の施設や宿舎があると思いますが、合併浄化槽・集落排水・公共下水道の処理はどのように利用されているのですか。

渡辺建設グループリーダー ほとんどの建物が下水道区域外に建設され、合併処理浄化槽で処理され放出されています。

どのような努力をしているのか

塩 史子議員 下水道使用料と受益者分担金の未納分はどのくらいの金額があるのですか。

渡辺建設グループリーダー 下水道使用料の未納額は212万6000円で、受益者分担金の未納額は243万4000円です。

また、未納を回収するためどのような努力をしていますか。

未納者に対して、未納通知を交付し、納めていただくような手立てをとっています。